

裾野市議会議員

浅田もとゆき 議員活動報告

No.038

発行日 2026年10月20日

発行責任者：浅田基行 連絡先：トヨタ自動車東日本労組 富士裾野支部内

2026年（令和８年）９月定例会

◎市長の提案理由 ― 令和7年度決算のポイント

令和7年度は財政非常事態宣言の解除直後の年度。市長は「**財政健全化と将来投資の両立**」を掲げ、当初予算は過去最大の236億9,200万円でした。物価高対策などの補正を経た結果が下の決算です。

歳入（入ったお金）	歳出（使ったお金）	実質収支（黒字）
253.2億円	241.9億円	10.6億円
前年度比 +4.7%	前年度比 +4.3%	うち5.3億円を貯金へ

▼ 市独自の「2つのものさし」はどちらもクリア

実質公債費比率（借金返済の重さ） ✓クリア

11.2%（前年度より0.4改善）

▲目標 13%以下

財政調整基金（市の貯金）残高 ✓クリア

36.4億円

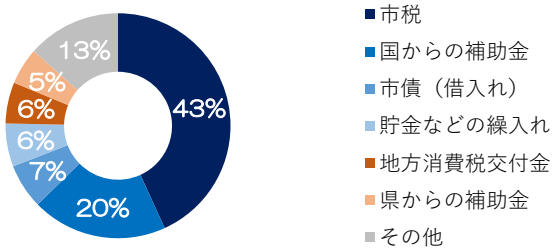
▲目標 10億円以上

浅田のひとこと

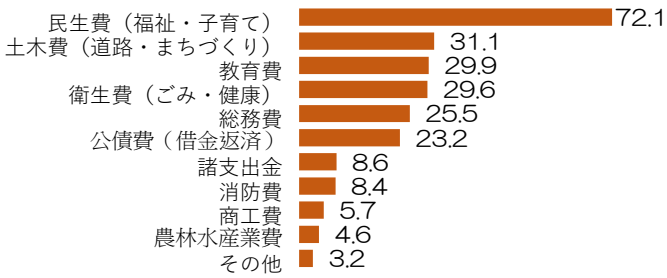
ものさしはクリア。ただし**市の貯金は1年で約5.1億円減りました**（41.5億→36.4億円）。貯金を取り崩して予算を組む形が続いていて、委員会でも議論になりました。健全化判断比率はすべて国の基準を下回り「健全」ですが、気を緩めずチェックしていきます。

◎令和7年度決算 ― 市のお財布をのぞいてみると

歳入 253.2億円の内訳



歳出 241.9億円の使いみち（億円）



▼ 前年度からの主な増減

【入ったお金】

- ▲ 個人市民税 +3.7億円（定額減税の終了）
- ▲ 固定資産税 +4.2億円
- ▼ **法人市民税 -5.5億円（-29.4%）**
- ▼ **地方交付税 -7.6億円**（財政力指数が0.968へ上昇）
- ▲ 貯金（財政調整基金）からの繰入れ +8.7億円

【使ったお金】

- ▲ 物価高対応 子育て応援手当 +2.2億円
- ▲ 児童手当 +2.0億円
- ▲ 最終処分場の管理 +3.3億円
- ▲ 食料品等の物価高騰負担軽減 +1.7億円
- ▼ 企業誘致費 -3.2億円

裏面につづく

◎9月補正予算 ― 何にお金を追加した？

一般会計 **＋6億500万円** → 総額 251億6,700万円

8会計すべての補正予算が委員会で全会一致で可決

子育て世帯の物価高対策 4,274万円
保育料の支援と、紙おむつ等の定期お届け（サブスク方式）。

小学校体育館にエアコン 1,307万円
須山小・富岡第一小の実施設計。

新しいモビリティ実証 400万円
三島市などと連携し、地域の移動の課題解消へ。

須山地区の集会所 974万円
防災機能を集約し、防災活動をスムーズに。

ふるさと納税が好調 1億130万円
寄附が見込みを上回り経費を追加（寄附収入は＋2億3,167万円）。

道の駅の基本計画 600万円
基本構想を受けて、基本計画をつくります。

施設の解体準備 3,319万円
旧駅西事務所の解体工事、南児童館の解体設計。

文化センター大ホール 192万円
リニューアル記念・ピアノ寄贈記念コンサート。

ほっこりニュース：**裾野高校生がフリーマーケットの収益を寄附**。その寄附で、**裾野駅にベンチ**、**岩波駅に時計**が設置されます。

◎一般質問　裾野駅・岩波駅の「賑わい拠点」はいつ、どう変わる？

市民の皆さんからよく聞かれる「駅前はいつ、どう変わるの？」という声。2つの駅前の進み具合と見通しを確認しました。

裾野駅西口

事業者を募集	優先交渉者決定	協議中	内容・工程を公表
令和7年9月 公告	令和8年1月	年内の基本協定が目標	協定締結後すみやかに

岩波駅

事業者を募集	提案の締切	設計・建設	利用開始の見込み
令和8年7月2日 公告	令和8年12月11日	賑わい施設・立体駐車場	令和11年1月

答弁で約束されたこと

- ✓ 基本協定が遅れる場合は、ホームページ等でお知らせする
- ✓ 基本協定の締結時に、利用開始までの工程を公表する
- ✓ 協議中でも、支障のないものは発信していく

「決まってから出す」ではなく「動いている間も出す」。協議中でも進み具合が見えるよう、発信の仕方を変えるよう求めました。市民の期待が大きい事業だからこそ、約束の実行を見届けます。

◎裾野市議会議員選挙 結果のご報告

告示 9月27日／投開票 10月4日
定数19人に26人が立候補

3期目 当選

1,334票　第2位

前回（2022年）から +564票


告示日：出陣・第一声


序盤：雨の中の街頭活動



中盤：ゴミ拾い街歩き



仲間とともに街頭へ


終盤：個人演説会



最終日：12時間耐久街歩き

3期目の決意

7日間の選挙戦では、雨の日も晴れの日も、仲間と一緒にまちを歩き、たくさんの声を直接聞かせていただきました。最終日は裾野駅周辺を12時間歩き続けました。

3期目も変わらず、モットーは**「現場・現物・実態」**。思いついたらすぐ動くフットワークで、職場や地域の声を議会に届けます。今回の一般質問のように、市民の皆さんが「おかしいな」と思うことは数字で確かめ、はっきり質していきます。

そして、よく食べ、よく飲み、よく笑う（食べすぎには注意します笑）。笑顔のある場所にこそ本音があると思っています。これからも気軽に声をかけてください！